

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	彩の森入間公園
指定管理者	彩の森入間公園パートナーズ
評価対象年度	令和5年度
施設所管課所	大宮公園事務所

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の平等な都市公園の利用の確保	平等利用の確保	A	条令及び事業計画書で定められた供用日、供用時間で運営した。
	利用料金の適切・公平な徴収	A	利用料金の徴収を適切に行った。利用料金は、管理センター内での掲示や公園ホームページで公開するなど周知に努めた。
	苦情・要望等への適切な対応	A	利用者満足度調査、アンケートを行い、寄せられた意見を参考にした運営を行った。また公園ホームページで問い合わせ欄を設け、幅広い収集を行った。苦情・要望等は迅速に対応するとともに、結果について掲示した。
関係する法令等を遵守した適正な都市公園の運営	法令等の遵守	A	法令、条例等を遵守した運営を行い、条例、管理者の定めた禁止事項に基づき適切に利用指導を行った。
	適切な各種手続	A	行為許可申請(全100件)等法令に基づく措置を行った。
都市公園の設置目的を効果的に達成した効率的運営	管理目標の達成	A	4項目すべて目標を達成した。
	事業の実施	A	ファンコミュニティづくりの一環として第1回「彩 Sainomori park Market」を開催し、2日間で260店舗、3,500人が来場した。犬連れのマナーが悪い苦情にマナー向上のため対応し、犬のしつけ教室を無料で行った。地域の方が行うイベントも結局的に実施した。
	安全性の確保	A	4月14日～5月29日にかけて園内8か所にスズメバチ(女王バチ)トラップを設置し、113匹捕獲。巣作りを軽減した。広場や園路の凹凸を確認次第、直営で整地し、園路の滑りやすい箇所はカラーコーンで注意喚起した。
	防災等適切な管理の履行	A	災害等発生時の対応研修や総合防災訓練を行った。7月、入間市危機管理課5名と「マンホールトイレ、かまどベンチ」の組み立て方の確認と設置場所について共有した。
指定管理業務を行う経営基盤	収支の適正な管理	A	指定管理業務以外への支出はない。会計も独立した収支管理を行った。
	事業計画との整合性	A	事業計画に則った定員配置と適正に会計書類を整備するとともに必要な保険に加入した。
その他	個人情報の適切な管理	A	個人情報マニュアルに基づき、個人情報取得の際には、利用目的・利用範囲を明確にするほか、利用後は適正に処分した。
	県内中小企業及び環境への配慮	A	修繕工事の発注に際しては、特殊技術・材料を必要とするもの以外は県内中小企業への発注に配慮した。
総合評価		A	アンケートによる公園利用者全体の満足度は前指定期間より引き続き4.6ポイントを維持し、「満足」「やや満足」の回答率は96.1%と昨年より向上した。

特記事項	特に評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場に近いこともあり利用頻度が高く、夏場のニオイがきついと来園者より苦情が寄せられた管理センター男子トイレ小便器を3月に交換した。小便器取換工事で臭気キャップが設置されていないこともわかり、ニオイが直接あがっていたことも判明し快適なトイレ空間を提供した。 ・長年の泥が蓄積し、降雨のたびに冠水していた駐車場の浸透柵5カ所を、重機を入れて柵清掃を行った。 ・行為許可申請(全100件)は主にスポーツやマルシェなど。安全管理を徹底するとともに、申請者と打合わせを行い申請者の目的に沿った提案をした。 ・ファンコミュニティづくりの一環として第1回「彩 Sainomori park Market」を開催。2日間で260店舗、3,500人が来場。
	次年度に向けて改善が望まれる点	防災設備を災害に備え、入間市や地域の方、隣接する学校と連携を図る。また、せせらぎやコバトン広場にも増設した花壇の新たなボランティアを立ち上げる。